

# 経営方針説明会

2017/6/15



Copyright ©2017 Ahresty Corporation. All Rights reserved.

## ご説明内容

- トピックス
- 2017年度計画
- 1618中期経営計画

# トピックス

2

 Ahresty  
Copyright ©2017 Ahresty Corporation. All Rights reserved.

## アーレスティンディア マルチスズキより表彰

### 「Over All Excellence」を受賞 (2017年5月)

#### ■ Over All Excellence

マルチ・スズキの  
最も名誉あるAward

500社以上のVendorで  
28社が受賞

Bhargava会長より  
直接手渡されました



3

 Ahresty  
Copyright ©2017 Ahresty Corporation. All Rights reserved.

# 合肥アーレスティ増築

## 2017年より増築工事開始 (新規受注および受注拡大に対応)

### ■ 工場増築工事

2017年7月着工予定  
2018年5月竣工予定

※ 下記設備を増築

鑄造工場： 5,271㎡  
加工工場： 13,402㎡  
事務棟： 3,724㎡



増築部分赤枠表示

2017年5月末現在

(工場面積) 土地 50,500㎡ 建屋 32,700㎡

(ダイカストマシン台数) 14台

# 2017年度計画

## 2017年度 通期計画

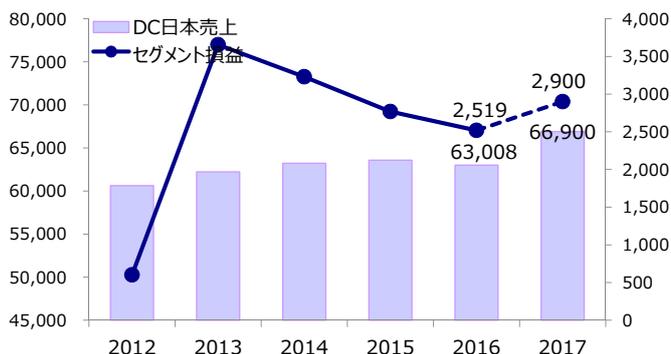
(単位：百万円)

	2016年度 実績		2017年度 計画		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	136,657	100.0%	142,000	100.0%	5,343	3.9%
営業利益	6,912	5.1%	7,000	4.9%	88	1.3%
経常利益	6,256	4.6%	6,400	4.5%	144	2.3%
当期純利益	4,992	3.7%	4,400	3.1%	△592	△11.9%

実績の為替レート (通期平均) : USD 米109.18円 メキシコ110.30円 人民元 16.56円 ルピー 1.63円  
 計画の前提レート : USD 110円 人民元 16.0円 ルピー 1.6円

# ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



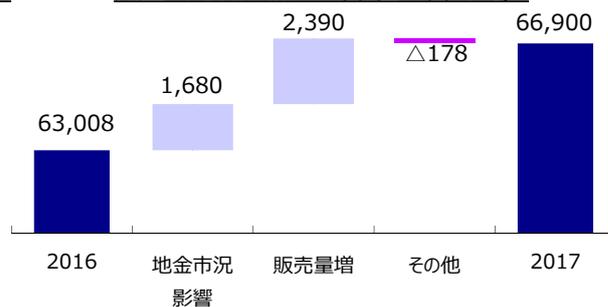
売上：669億円（対前期実績 6.2%増）

- 販売量は前期実績を上回る水準
- 地金市況は前期実績よりも上昇する予測

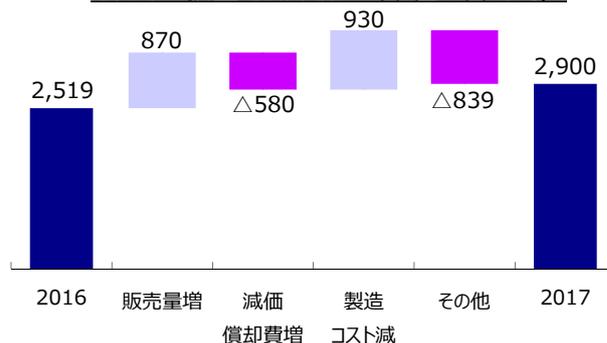
セグメント損益：29億円（対前期実績 15.1%増）

- 増量及び原価低減効果により増益予想

売上高増減予測（単位：百万円）



セグメント損益増減予測（単位：百万円）



# ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



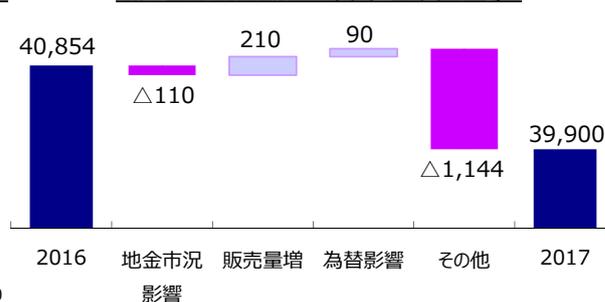
売上：399億円（対前期実績 2.3%減）

- 販売量は微増
- 金型・その他売上等は前期実績より減少

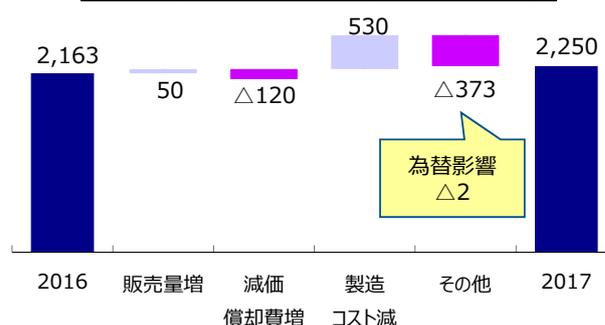
セグメント損益：22.5億円（対前期実績 4.0%増）

- 原価低減効果により増益予想

売上高増減予測（単位：百万円）

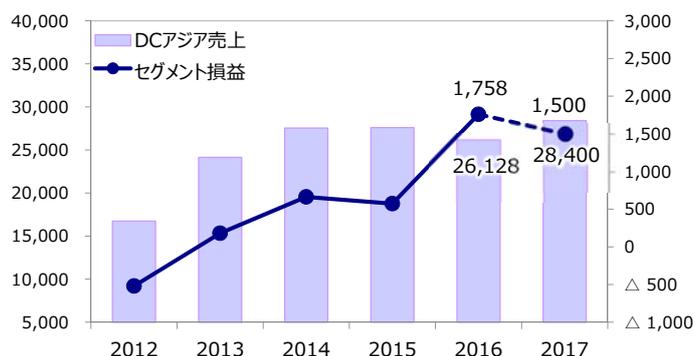


セグメント損益増減予測（単位：百万円）



# ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



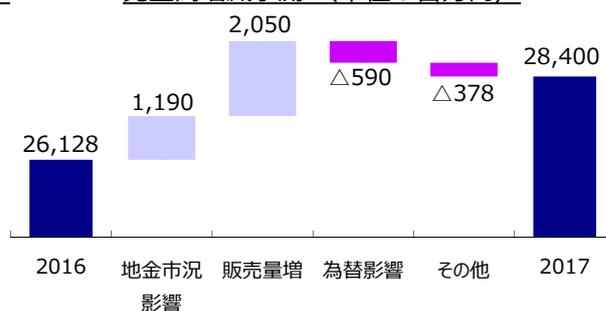
売上：284億円（対前期実績 8.7%増）

- 販売量は前期実績を上回る水準
- 地金市況は前期実績よりも上昇する予測
- 円高進行による為替影響

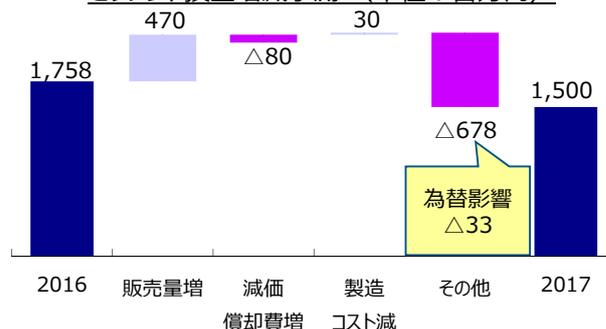
セグメント損益：15億円（対前期実績 14.7%減）

- 付加価値単価の増減等により減益予想

売上高増減予測（単位：百万円）



セグメント損益増減予測（単位：百万円）



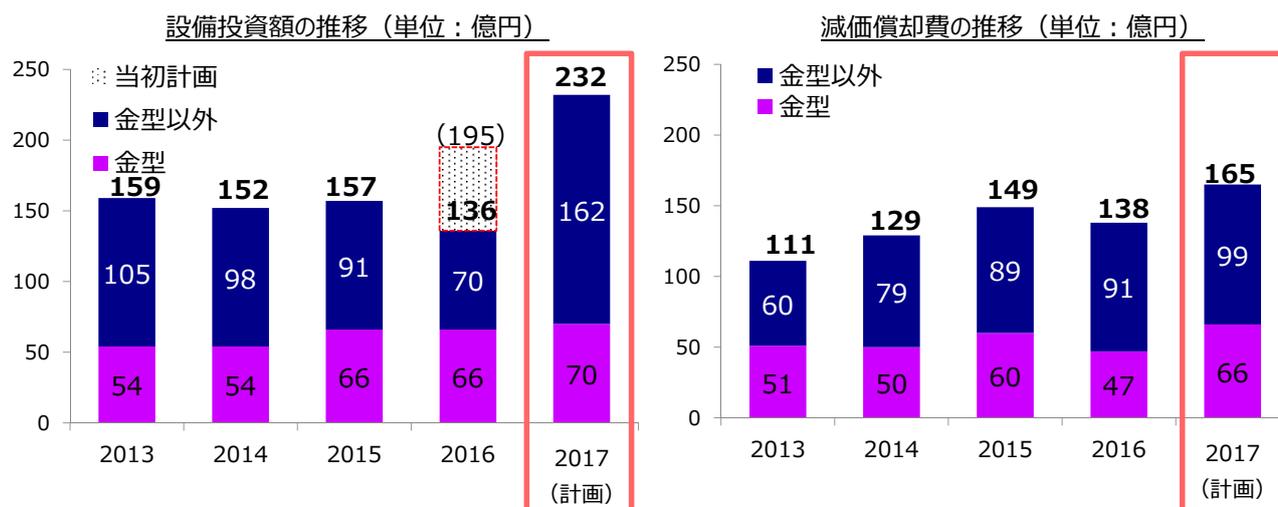
# アルミニウム事業および完成品事業

（単位：百万円）

		2016年度 実績	2017年度 計画	増減	
アルミニウム事業	売上高	4,402	4,600	198	4.5%
	セグメント損益	274	250	△24	△2.8%
完成品事業	売上高	2,263	2,200	△63	△8.8%
	セグメント損益	155	100	△55	△35.5%

- 完成品事業については半導体関連企業のクリーンルームやコンピュータールームの受注が減少する予測

# 設備投資・減価償却の動向



## 2017年度

- 投資内容 ダイカスト：能力維持、合理化投資を中心 加工：海外拠点の能力拡充投資を中心
  - 設備投資金額：合計232億円（一般設備投資 162億円、金型投資 70億円）
- ※2016年度は顧客都合等による設備投資の見直し・延期で減少（当初計画 195億円 → 実績 136億円）

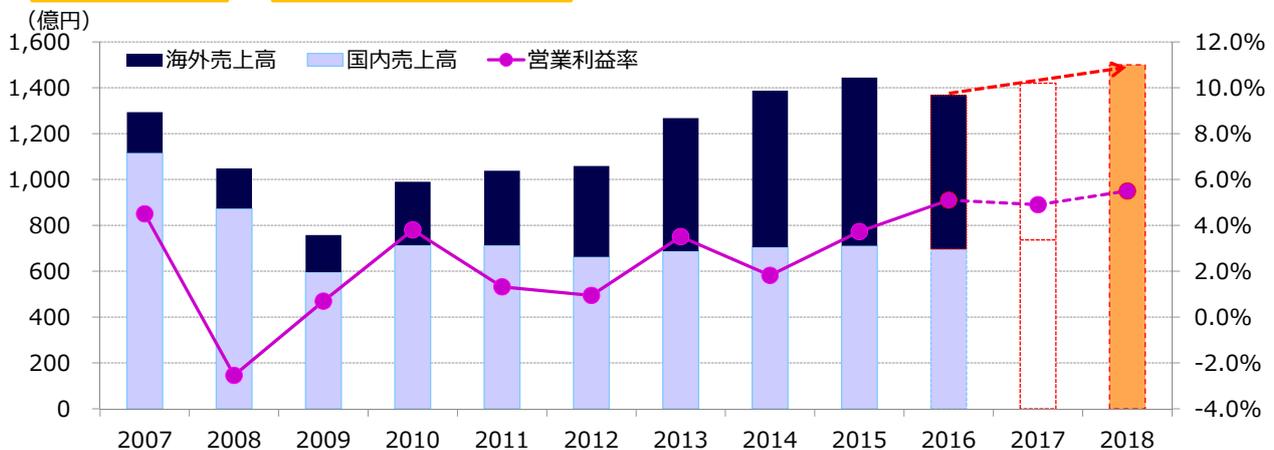
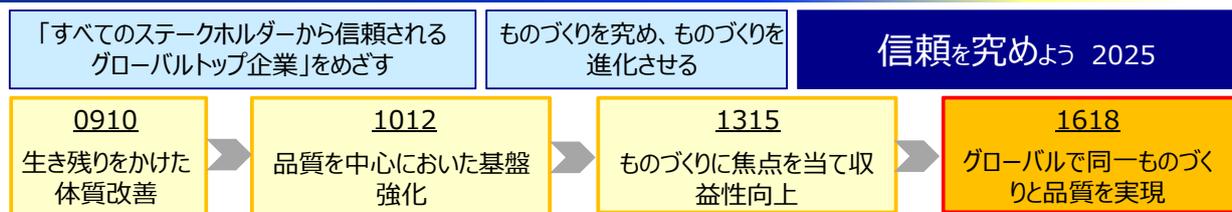
# 配当

1株当たり配当金	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度 予想
(年間)	14	12	14	20	26
中間配当	8	6	6	8	12
期末配当	6	6	8	12	14
1株当たり純損益(連結)	287.10	40.85	118.50	193.15	170.24
配当性向(連結)	4.9%	29.4%	11.8%	10.4%	15.3%

- 2016年度は、期初計画の業績を達成できたため、中間配当を2円、期末配当を4円増配し年間20円の配当を実施
- 2017年度は、年間26円の配当を予想
- 中長期的な企業成長に必要な経営基盤や配当性向等を勘案し適正な利益還元を推進

# 1618中期経営計画

## 10年ビジョンと中期経営計画の推移



1618中計では1315中計を更にグローバルで展開し「ものづくり」「ひとつづくり」「収益力強化」を図る

# 1618中期経営計画の基本方針

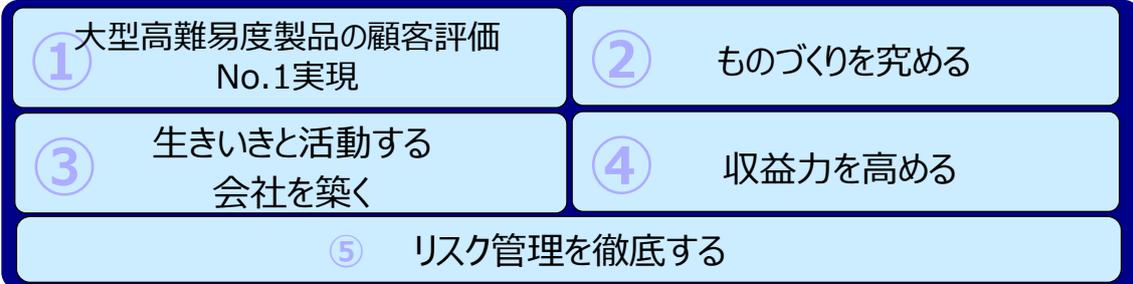
アーレスティ10年ビジョン

信頼を究めよう 2025

ありたい姿

- お客様からの信頼No.1
- グローバルで車の軽量化に役立つ
- 売上高2000億円 +α

## 1618中期経営計画



### 1618中期経営計画の進捗状況

- ・ものづくりを究め、アーレスティプロダクションウェイを確立する事を基本方針に5つの柱を推進
- ・グローバルでしゅみを統一し、同質のものづくりと品質を実現していく活動により水準の底上げを実施
- ・方針評価会でのPDCA管理を実施（国内4回、海外9回（北米、中国、インド・タイ各3回））

## ① 大型高難易度製品の顧客評価No.1実現

大型で要求品質の高い部品のQCDを向上させることで顧客評価No.1を目指す



- 大型高難易度製品の営業活動をグローバルで推進
- 既存の日系メーカーのみならず、欧米系新規顧客に対しても積極的に営業活動を展開
- 投資効率、生産効率の優れたグローバルラインを構築し全拠点に水平展開。全世界でお客様に貢献する

### (進捗状況)

- ◆ 北米・中国の営業強化：米オフィス開設、中国北米営業人員増員、欧米メーカーへのコンタクト開始
- ◆ スバル向けブロック専用ラインを栃木工場に構築
- ◆ 車体や足回りなどの軽量化ニーズに応えるための専門部隊を設置
- ◆ マルチスズキよりOver All Excellence Award受賞（インド）  
日野自動車より品質優良賞受賞・瀋陽三菱自動車より優秀サプライヤー賞受賞（合肥）  
トヨタ自動車より品質賞、ZERO PPM賞受賞（インド）

# ①大型高難易度製品の顧客評価No.1実現

## 本コンセプトに基づいた新製造ライン アーレスティ栃木 第6工場 稼働開始

- 増築面積：1,143㎡
- 設置設備：2250トンダイカストマシン  
機械加工設備他
- 生産能力：2,800t/月⇒3,000t/月  
200t/月増加



第6工場外観

### 第6工場製造ラインのコンセプト

- 同期化ライン：鋳造～完成品までの複数  
工程を1個流し
- 省人化
- 在庫削減：工程間の無駄な在庫を削減
- 設備故障予防
- その他製造条件管理



第6工場内

# ②ものづくりを究める

## グローバルレベルでの業務改革・標準化

グローバル基準でものづくりプロセスを確立

信頼を究める品質保証の確立

技術のロードマップの実現

徹底した製造原価低減活動

### (進捗状況)

1. 鋳造・加工の最適製造条件の監視と管理を実施
2. ランクアップ活動による品質保証体制の構築
3. 技術のロードマップに基づく課題の解決と技術の蓄積を推進
- 4.ロス低減と原単位管理による原価低減を推進

- ◆ 品質保証のランクアップ活動による取組みを展開・適用 → クレーム件数の低減を実施
- ◆ 方針評価会開催（国内1回/3ヶ月、海外1回/4ヶ月）
- ◆ Global Kaizen Meetingの開催

## ②ものづくりを究める

### Global Kaizen Meeting



Globalで成長していくこと  
 拠点の技術水準を同一・同質にすること  
 を目的に  
 年1回 海外拠点を含め開催



2016年10月 海外からも16名が参加し  
 総勢48名で「**铸造OPCC**」をテーマに  
 事例報告や活発な意見交換を行われた

■ **OPCC**  
 Optimal Process Condition Control の略

## ③生きいきと活動する会社を築く

### RST Wayを実践できる企業風土づくり

### ものづくりを究める人材育成

#### RSTWay

「誠実」「率先」「スピード」「成長」「挑戦」

RSTWayを実践できる、風通しの良い企業風土を築く

社員のモチベーション向上  
 社員間の良好な関係構築  
 スピーディかつ正確な情報伝達

#### (進捗状況)

- ◆ Wayの取組みは前年比活発化し、各部門に浸透
- ◆ Way推進担当者会議の定期開催と情報共有
- ◆ RST Way表彰 Ahresty Award創設
- ◆ コミュニケーション活性化委員会設置、委員会活動
- ◆ 社内壁新聞発行、社内報、グローバル報発行

#### RSTプロダクションWay

教育体系を整備運用して人材育成を強化  
 (グローバルRSTラーニングの充実)

社員のモチベーション向上  
 社員の知識、技能のレベルアップ

#### (進捗状況)

- ◆ 日本のRST学園を海外拠点に拡大
- ◆ 教育体系・カリキュラムの整備、テキストの整備
- ◆ トレーナー養成教育を開催
- ◆ インドQC協会から金賞受賞

### ③ 生きいきと活動する会社を築く

#### グローバル RST ラーニング (RST学園)

創業時から蓄積してきたものづくりのノウハウを伝承するため、グローバルで全社員が同一水準の教育を受講

必要な教育を誰でも受講でき、標準の大切さを演習で体験する教育を推奨している



### ④ 収益力を高める

#### 1618中期経営計画 経営目標値

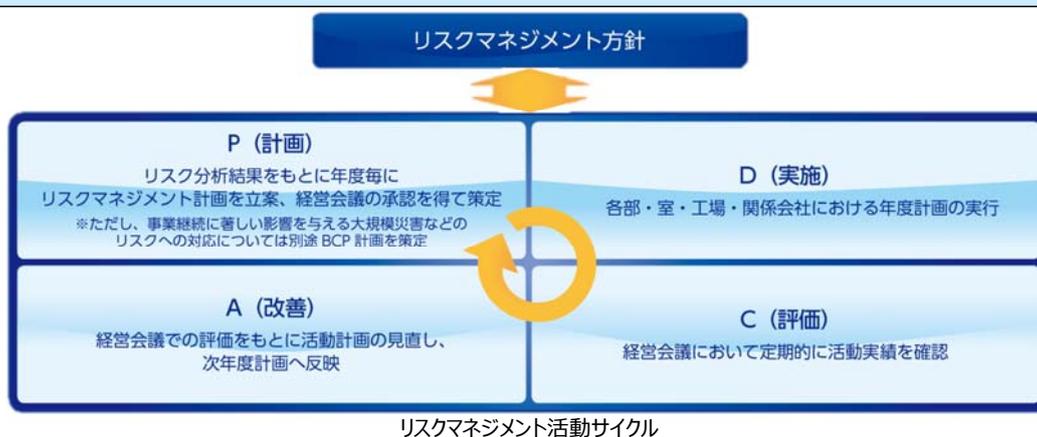
	2016年度 (実績)	2017年度 (計画)	1618中期経営計画 (目標値)
売上高	1,366	1,420	1,500
営業利益率	5.1%	4.9%	5.5%
総資産利益率 (ROA)	3.6%	—	3.0%
自己資本利益率 (ROE)	7.9%	—	7.0%

中長期的な事業発展・企業成長のための財務体質と経営基盤の強化

適正な利益還元

## ⑤リスク管理を徹底する

想定リスクを特定・評価、リスク発生の未然防止と、影響の極小化に取り組む



### (進捗状況)

2016年度 国内工場：熊本地震での教訓も踏まえたBCP訓練の実施  
海外工場：各国各地域でのリスクに応じたBCPの策定  
2017年度 BCPの拡充と訓練を実施  
→ 継続的なBCP見直し

Casting Our Eyes  
on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】  
株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664  
E-mail: ahresty\_MP0\_IR@ahresty.com  
URL: <http://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。